

<専任教員報告>

2014年度教員活動報告

梅林宏道 (核兵器廃絶研究センター長)

I 教育

- 1) 担当科目 「核兵器とは何か」(全学モジュール I 「核兵器のない世界を目指して」)の一部分担

II 研究

- 1) 主要研究テーマ
 - ・核軍縮・不拡散に関する世界の現状
 - ・北東アジア非核化に関する諸問題
 - ・朝鮮民主主義人民共和国(DPRK、北朝鮮)の核問題
- 2) 著書・論文・学会誌寄稿など
 - ・梅林宏道著「비핵무기시대」(非核兵器地帯) (「非核兵器地帯」岩波書店、2011年の改訂・韓国語版)、Seohaemunjip, 2014
 - ・梅林宏道監修・一部執筆「イアブック：核軍縮・平和2014——市民と自治体のために」、編著・NPO法人ピースデポ、緑風出版、2014年11月30日)
 - ・梅林宏道「核軍縮：2013年の概観——延命する核抑止論、遠のく『核兵器のない世界』」(梅林宏道監修『イアブック：核軍縮・平和2014』、編著・NPO法人ピースデポ、緑風出版、pp.12-18)
 - ・梅林宏道「民主主義の主体と情報」(梅林宏道監修『イアブック：核軍縮・平和2014』、編著・NPO法人ピースデポ、緑風出版、pp.32-45)
 - ・編・共著「提言：北東アジア非核兵器地帯設立への包括的アプローチ」、RECNA発行、2015年3月
 - ・Hiromichi Umebayashi, “A Proposal for a Northeast Asia Nuclear-Weapon-Free Zone,” Kim Dae-jung Presidential Library Conference, Seoul, December 10, 2014 (RECNA ウェブサイト「レクナの目」に掲載)
- 3) 学会発表
 - ・「米軍の日本への前進配備と北東アジアの平和」、第10回ハンギョレ釜山国際シンポジウム、2014年11月19日
- 4) その他
 - ・講演・パネリスト「国際平和シンポジウム：核兵器廃絶への道」(主催：長崎市、(公財)長崎平和推進協会、朝日新聞社、長崎ブリックホール国際会議場、2014年8月2日。『朝日新聞』2014年8月9日付紙面に発言内容掲載。
 - ・RECNA NPT ブログ執筆分担
 - ・長崎新聞連載記事「長大 RECNA・NPT 第3回準備委員会」の RECNA 側アンカ

一として働く。

- ・RECNA 核弾頭データ追跡チームの座長としてデータベース作成に取り組む
- ・「北東アジアの非核化と世界の非核化——北東アジア非核兵器地帯への包括的アプローチ・ワークショップⅢ」(RECNA 主催、2014年9月、東京)の実行委員長を務める。

Ⅲ 地域貢献

1) 地域活動

- ・第5回「核兵器廃絶-地球市民集会ナガサキ」(2013年11月2-4日)の長崎アピール起草委員として作成に参加
- ・平成26年度核兵器廃絶市民講座・第4回「いま、政府の役割と市民の力」、核兵器廃絶長崎連絡協議会、2013年11月1日
- ・長崎県立豊玉高校文化祭で講演「原子力エネルギーと人類」、2014年11月3日

2) 外部委員

- ・長崎平和宣言起草委員会委員
- ・明治学院大学国際平和研究所研究員
- ・核軍縮・不拡散議員連盟(PNND)日本相談役
- ・核軍縮・不拡散議員連盟(PNND)東アジア・コーディネーター
- ・NPO法人ピースデポ 特別顧問
- ・Member of the Editorial Board of Asian Journal of Peacebuilding

Ⅳ 校務分掌

1) 校務分掌

教育研究評議会委員
連絡調整会議委員
共同教育研究施設等協議会代議員
人事委員会委員